

農 研 速 報

平成 27 年 12 月 28 日発行
 茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室
 〒301-0816 茨城県龍ヶ崎市大徳町 3974
 TEL: 0297-62-0206 FAX: 0297-64-0667

大豆の生育概況(龍ヶ崎市)

地 域 名	生育(作柄・品質)概況	備考
茨 城 県 (龍ヶ崎市)	<p>1) 気象概況(6 月 18 日～10 月 30 日)</p> <p>大豆生育期間中を通して、日平均気温は平年より 0.6℃低く、降水量は平年比 116%と多く、日照時間は平年比 96%とやや少なく推移した。時期別の気象は以下のとおり。</p> <p>日平均気温は、7 月第 1, 2 半旬は平年より 2.0℃低く推移した。7 月第 3～8 月第 2 半旬は平年より 1.5℃高く推移した。8 月第 3 半旬以降は平年より 1.3℃低く推移した。</p> <p>降水量は、6 月第 5 半旬、7 月第 1 半旬、8 月第 3, 4 半旬、9 月第 2 半旬にまとまった降雨があり、特に 9 月第 2 半旬は台風 18 号の影響により 181mm とかなり多かった。9 月第 5 半旬以降は、平年より少なく推移した。</p> <p>日照時間は、7 月第 1, 2 半旬は平年より少なく、7 月第 3 半旬～8 月第 2 半旬は平年比 122%と多かった。8 月第 3 半旬から 9 月第 4 半旬までは、平年比 46%と少なく推移した。9 月第 5 半旬～10 月第 6 半旬までは平年比 134%と多く推移した。</p> <p>2) 生育概況</p> <p><u>タチナガハ</u>: 出芽、その後の生育とも良好に推移した。出芽期は 6 月 25 日、開花期は 8 月 1 日と平年並みであったが、成熟期は 10 月 24 日と 5 日早くなった。倒伏は見られなかったが、青立ちは多く発生した(青立ち程度 4.0)。主茎長はかなり短く、主茎節数は平年並み、分枝数はやや多く、茎の太さはやや細くなったが、全重は平年並みであった。稔実莢数は平年並み、百粒重は平年比 111%と重くなったことから、子実重は平年比 118%と多収であった。</p> <p><u>納豆小粒</u>: 出芽、その後の生育とも良好に推移した。出芽期は 6 月 24 日、開花期は 8 月 8 日と平年並みであったが、成熟期は 10 月 22 日と 8 日早くなった。倒伏は多く見られ、青立ちも発生した(倒伏程度 4.0, 青立ち程度は 2.5)。主茎長は平年よりやや短かったが、主茎節数、茎の太さ、分枝数は平年並みとなり、全重も平年並みであった。稔実莢数は平年比 79%とかなり少なかったため、百粒重は平年比 111%と重くなったものの、子実重は平年比 94%とやや少なかった。</p> <p><u>里のほほえみ</u>: 出芽、その後の生育とも良好に推移した。出芽期は 6 月 25 日、開花期は 8 月 1 日となった。成熟期は「タチナガハ」と同じ 10 月 24 日であった。倒伏、青立ちはやや発生した(倒伏程度 1.0, 青立ち程度 1.5)。「タチナガハ」対比で、主茎長は長く、主茎節数は多く、分枝数は並、茎の太さは太くなり、全重は並みとなった。稔実莢数は 94%と少なく、百粒重は 110%と重かったものの、子実重は 92%と少なくなった。</p>	

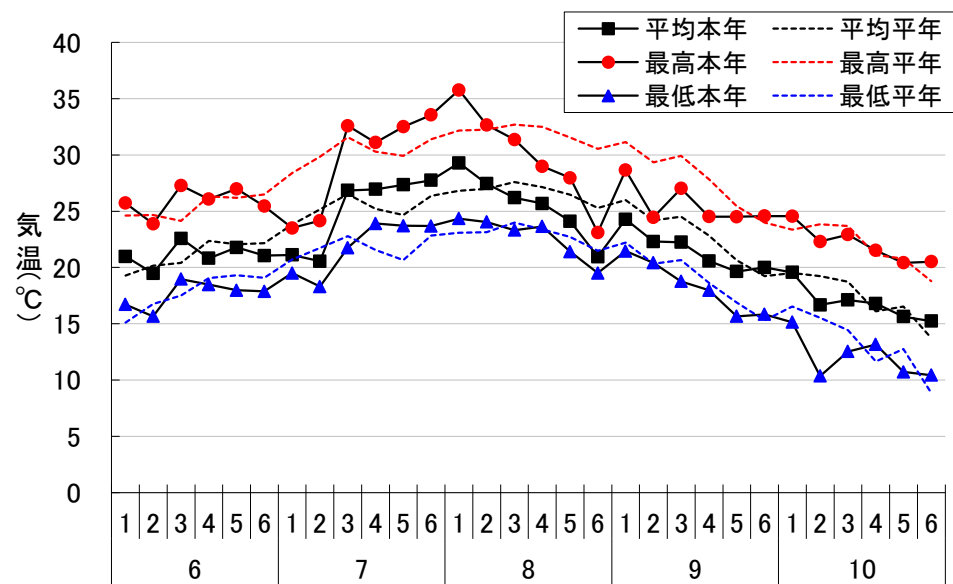


図1 半旬別最高・最低・平均気温の推移 (月・半旬)

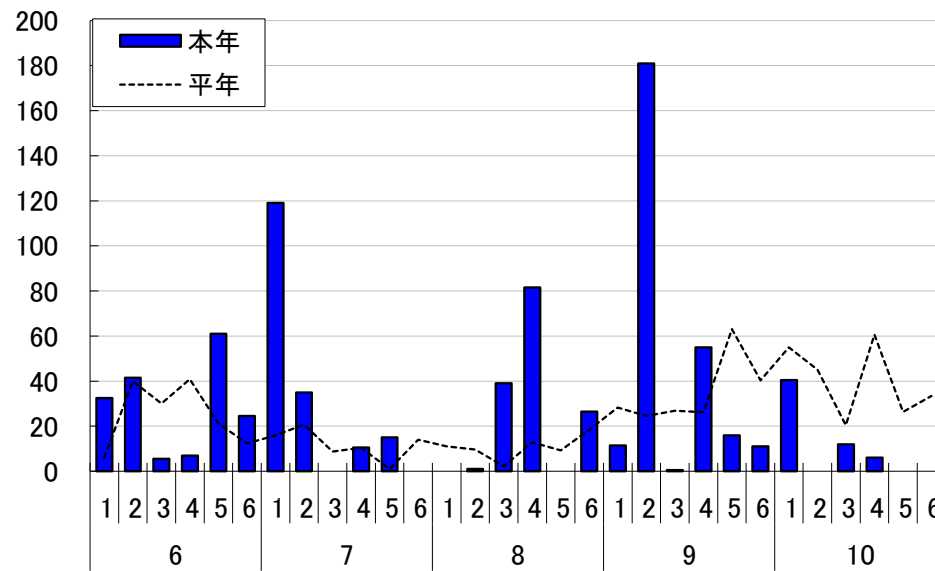


図2 半旬別降水量の推移 (月・半旬)

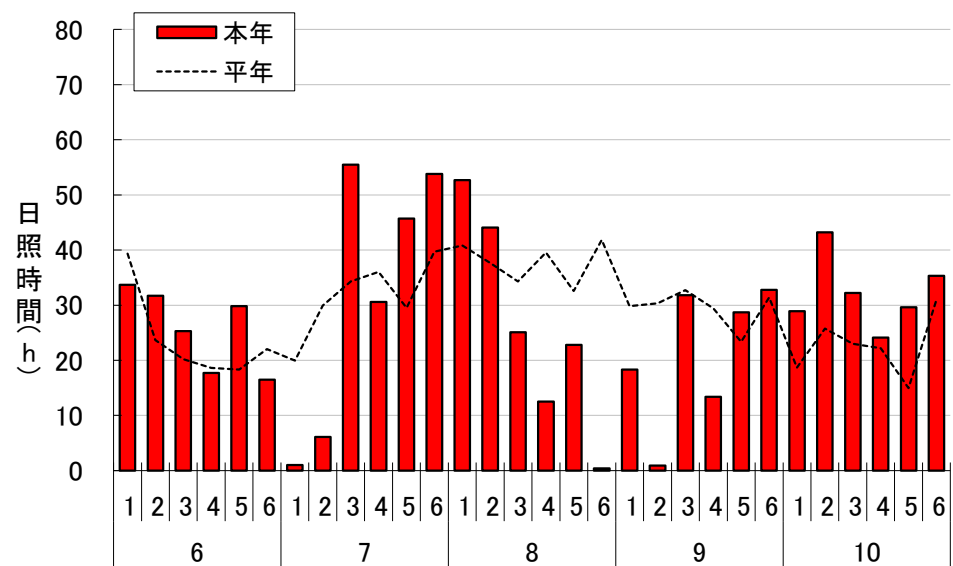


図3 半旬別日照時間の推移 (月・半旬)

表 転換畑における大豆の生育、収量（龍ヶ崎市，水田利用研究室）

品種	成熟期			主茎長			主茎節数			分枝数			茎の太さ		
	本年 (月/日)	前年差 (月/日)	平年差 (月/日)	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (節)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (mm)	前年比 (%)	平年比 (%)
タチナガハ	10/24	－5	－5	48.5	80	85	13.5	92	95	4.9	96	109	9.4	90	94
		(10/29)	(10/29)		(61)	(57)		(14.7)	(14.2)		(5.1)	(4.5)		(10.4)	(10.0)
納豆小粒	10/22	－8	－4	68.1	85	93	16.8	97	100	7.4	79	101	9.8	92	95
		(10/30)	(10/25)		(80)	(73)		(17.4)	(16.8)		(9.4)	(7.3)		(10.6)	(10.3)
里のほほえみ	10/24	－	－	60.4	－	－	14.9	－	－	5.0	－	－	11.2	－	－

品種	全重			稔実莢数			子実重			百粒重		
	本年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (莢/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (g)	前年比 (%)	平年比 (%)
タチナガハ	64.7	77	100	50	84	95	34.3	74	118	39.1	89	111
		(84.0)	(64.4)		(59)	(52)		(46.3)	(29.1)		(44.0)	(35.3)
納豆小粒	68.1	83	96	146	87	79	30.8	74	94	11.4	92	111
		(81.7)	(71.1)		(167)	(184)		(41.5)	(32.7)		(12.4)	(10.3)
里のほほえみ	67.3	－	－	47	－	－	31.5	－	－	42.9	－	－

【耕種概要】

- 1) 圃場来歴：転換1年目（前作麦類）
- 2) 播種日：6月18日
- 3) 栽植密度：11.1株（畦間60cm×株間15cm）1本立て
- 4) 施肥量：N-P₂O₅-K₂O：0.3-1.2-1.2（kg/a）
- 5) 中耕培土：1回目 7月15日，2回目 7月27日
- 6) 病虫害防除：8/11, 8/21, 9/5, 9/28の4回実施

【平年値】

- 1) 平年値は平成21年～23年，平成25年，26年の5ヵ年分の平均値（平成24年は天候不順により播種日が7日遅れたため除外）。
- 2) （）内は前年値または平年値。

【調査方法】

- 1) 茎の太さは第1節（子葉節）と第2節（初生葉節）の中間で最も太い部分を測定。
- 2) 全重，子実重，百粒重は水分15%換算。

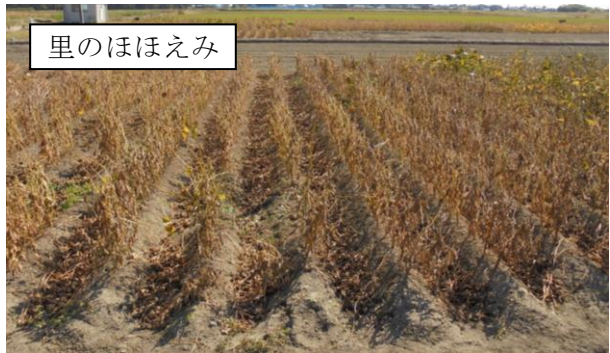
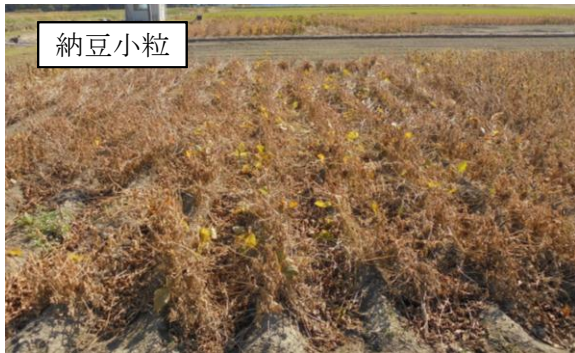


写真 所内大豆の成熟期頃の生育状況（10月26日撮影，左からタチナガハ，納豆小粒，里のほほえみ）